



マーケット・ウォッチ 2021年6月号

1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

<先月の回顧>

① 株式市場

日経平均株価は前月比+47円上昇（騰落率+0.16%、月末終値 28,860円）。インフレ懸念による世界的なハイテク株への利益確定売りから、5月13日の日経平均株価は一時 27,385円まで下落。その後、押し目買いニーズに加え、ワクチン大規模接種の開始から株価は上昇。日銀は3月に変更したETF（上場投資信託）買入方針に基づきETF購入を見送り、月間ベースでは2013年4月の異次元緩和以降では初めてのETF購入額ゼロ。

② 為替市場

米ドル円相場は横ばい圏で推移（騰落率+0.27%、月末気配 1ドル 109円 58銭）。米4月消費者物価指数（CPI）の予想を上回る結果から米長期金利が上昇し、円安に振れる場面もあったが、FRB（連邦準備制度理事会）の金融緩和が長期化するとの見方から上下に1円 85銭の狭いレンジで推移。5月の円と米ドルはトルコリラを除く主要通貨に対して全面安の展開。

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、前月比▲0.01%低下（月末値 0.08%）。日銀が3月の金融政策決定会合で長期金利の変動幅を±0.25%程度と明確化したことで、長期金利は安定推移。国債の取引量は一段と減少しており、6月1日には国債取引の仲介業者である日本相互証券では、新発10年物国債が取引不成立。取引不成立は2020年6月29日以来11カ月ぶり。

<今後の相場見通し>

① 株式市場

日経平均株価は緩やかな上昇を予想。国内のワクチン接種進展による経済活動再開期待、世界的な景気回復の恩恵および安定的な低金利で株式市場の環境は改善。しかし日銀のETF買入方針の変更（株高局面は購入見送り、市場混乱時に積極購入）から相場急落の心配はないが、相場上昇は割安感に着目した外国人投資家頼みの展開を想定。

（今月の予想レンジ） 日経平均株価 27,000 ～ 31,000円 NY ダウ 33,500 ～ 35,500ドル

② 為替市場

米ドル円相場は緩やかな円安ドル高推移を予想。米国景気の上振れが見込まれ円高リスクが後退するなか、米経常赤字の拡大およびFRBの金融緩和政策長期化でドルの上値は重く、引き続き狭いレンジでの米ドル高円安基調を想定。

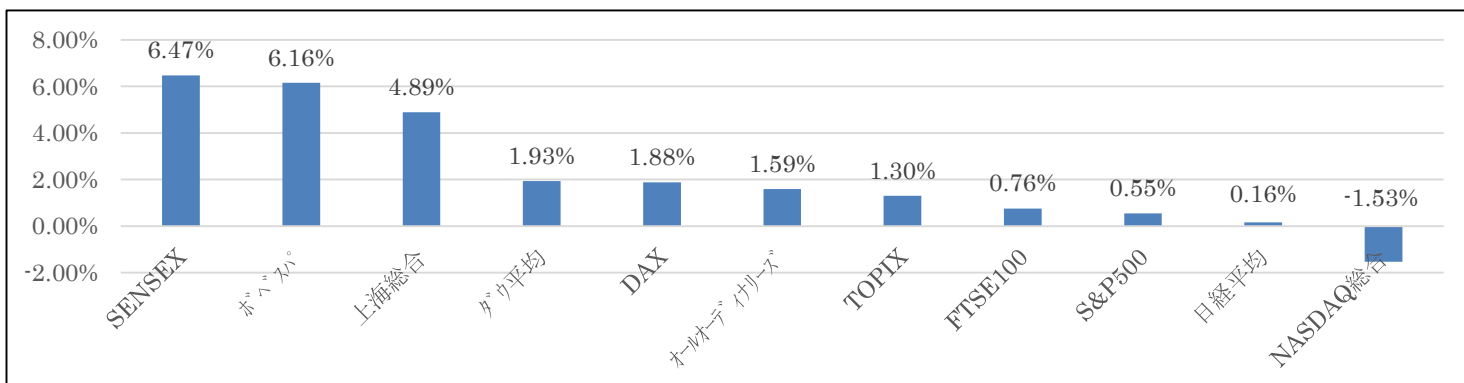
（今月の予想レンジ） 米ドル円 108 ～ 112円 ユーロ円 132 ～ 135円

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。ワクチンの大規模接種の開始から経済正常化への第一歩を刻んだが、インフレ懸念にはほど遠く、感染防止および経済の正常化に向けて金融・財政政策の継続は不可欠。10年国債利回りは現状レベルでの低位安定を想定。

（今月の予想レンジ） 日本10年国債利回り 0.06 ～ 0.10% 米国10年国債利回り 1.50 ～ 1.90%

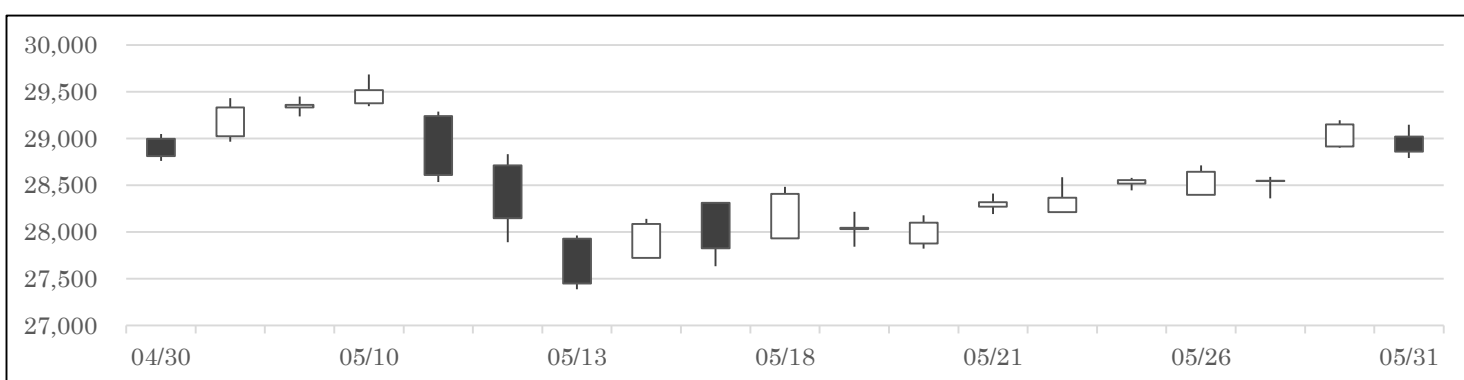
2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



< 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	オーストラリア	上海総合	ホンバ	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
28,860.08	1,922.98	34,529.45	4,204.11	13,748.739	15,421.13	7,022.61	7,406.7	3,615.4773	126,215.73	51,937.44

< 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティエム証券が作成

< 先月の回顧 >

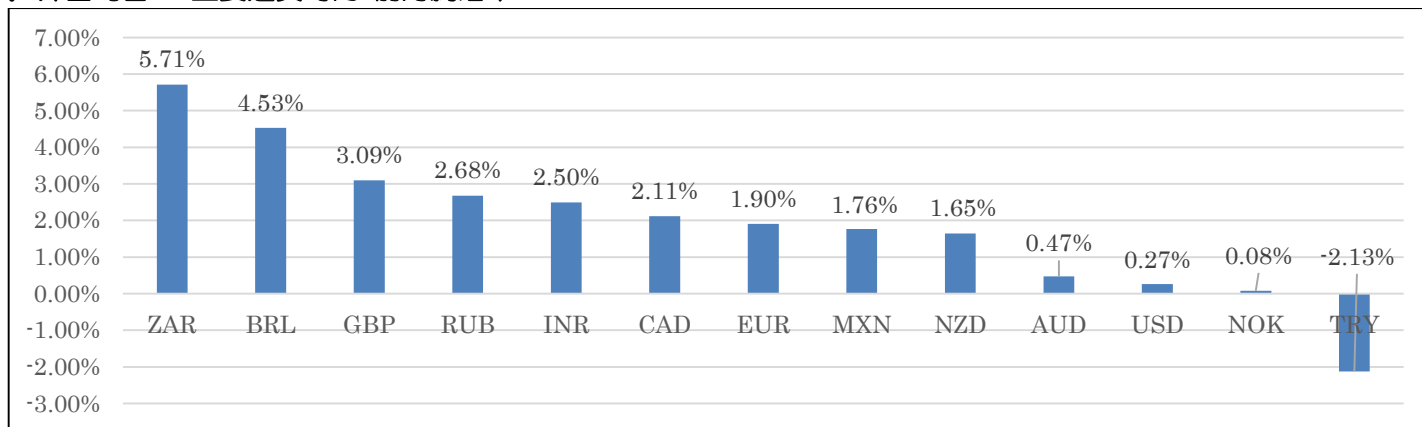
- ① 日経平均株価は前月比+47 円上昇 (騰落率+0.16%、月末終値 28,860 円)。インフレ懸念による世界的なハイテク株への利益確定売りから、5 月 13 日の日経平均株価は一時 27,385 円まで下落。その後、押し目買いニーズに加え、ワクチン大規模接種の開始から株価は上昇。日銀は 3 月に変更した ETF (上場投資信託) 買入方針に基づき ETF 購入を見送り、月間ベースでは 2013 年 4 月の異次元緩和以降では初めての ETF 購入額ゼロ。
- ② NY ダウ (米国株式) は前月比+654 ドル上昇 (騰落率+1.93%、月末終値 34,529 ドル)。ハイテク株の割合が高いナスダック総合は前月比▲213 ポイント下落 (騰落率▲1.53%、月末終値 13,748 ポイント)。米 4 月消費者物価指数 (CPI) の大幅な上昇からインフレ懸念が再燃し、株式市場は軟調に推移。その後、22 年会計年度の予算案が 6 兆ドル規模との報道を受け、景気回復期待の高まりから株式市場は上昇。

< 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は緩やかな上昇を予想。国内のワクチン接種進展による経済活動再開期待、世界的な景気回復の恩恵および安定的な低金利で株式市場の環境は改善。しかし日銀の ETF 購入方針の変更 (株高局面は購入見送り、市場混乱時に積極購入) から相場急落の心配はないが、相場上昇は割安感に着目した外国人投資家頼みの展開を想定。
- ② 米国株式は堅調ながら上下に振れる展開を予想。米国の企業業績は引き続き好調だが、更なる大規模な経済対策から予想より早い景気回復で、FRB の金融政策正常化 (量的緩和の縮小) の前倒しを警戒する展開。コロナ禍で労働力等の制約が生産・流通等の供給サイドにかかり、経済対策効果による強い需要との不均衡から物価の上昇が発生。FRB はその不均衡是正のため、緩和的金融政策の継続による企業の供給体制の整備促進を見込み、株式市場の堅調地合い継続を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 27,000 ~ 31,000 円 NY ダウ 33,500 ~ 35,500 ドル

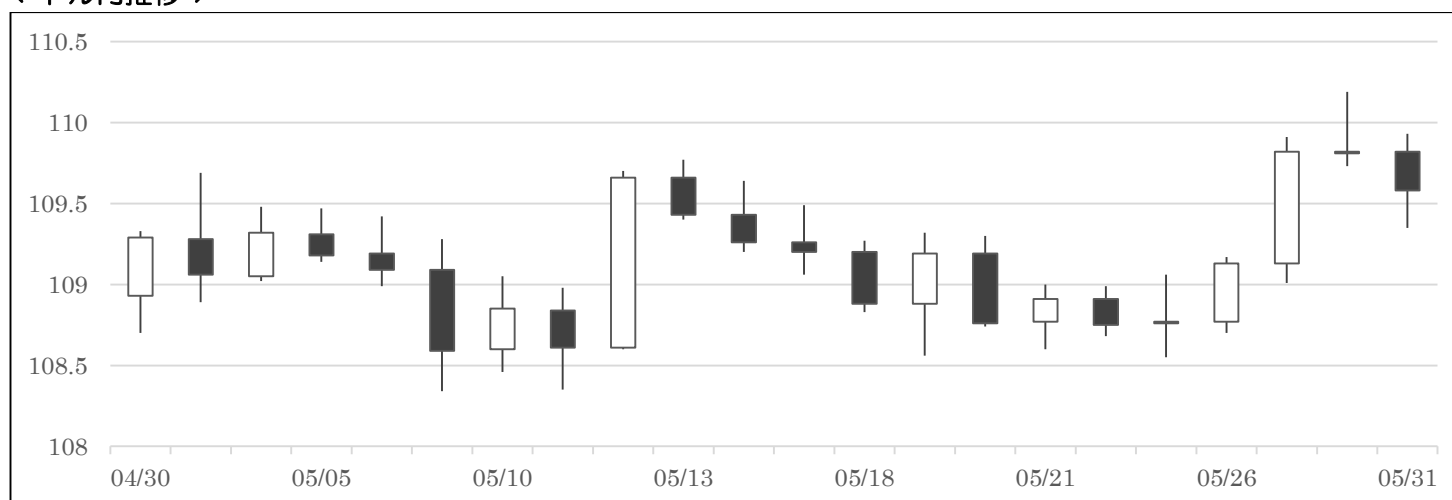
3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



< 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
ドル	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
109.58	133.97	155.68	84.76	90.79	79.68	13.16	20.99	1,511.7	5,490.8	1,491.0	7,968.9	12.89

< ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は横ばい圏で推移(騰落率+0.27%、月末気配 1ドル 109円 58銭)。米 4 月消費者物価指数(CPI)の予想を上回る結果から米長期金利が上昇し、円安に振れる場面もあったが、FRB(連邦準備制度理事会)の金融緩和が長期化するとの見方から上下に 1円 85銭の狭いレンジで推移。5月 は上記グラフ<主要通貨対円 前月騰落率>の通り、円と米ドルはトルコリラを除く主要通貨に対して全面安の展開。
- ② ユーロ円相場はユーロ高円安で推移(騰落率+1.90%、月末気配 1ユーロ 133円 97銭)。4月以降、ユーロ圏ではワクチン接種が大きく進展し、ドイツの人口当たり接種数は米国・英国を追い抜くなど、制限解除による経済正常化期待からユーロは対円で上昇。

< 今後の見通し >

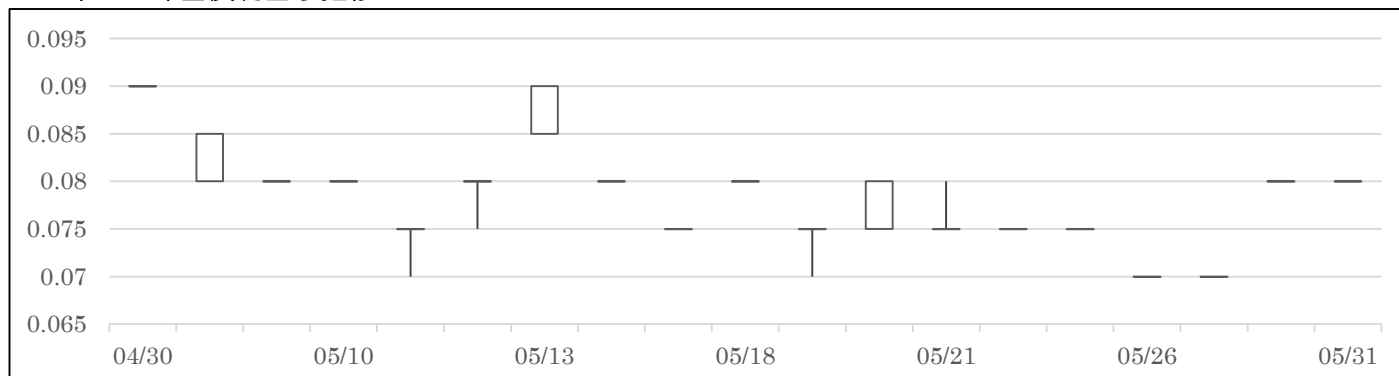
- ① 米ドル円相場は緩やかな円安ドル高推移を予想。米国景気の上振れが見込まれ円高リスクが後退するなか、米経常赤字の拡大および FRB の金融緩和政策長期化でドルの上値は重く、引き続き狭いレンジでの米ドル高円安基調を想定。
- ② ユーロ円相場は緩やかなユーロ高推移を予想。ワクチン接種の進捗からドイツ、フランス、イタリアでは新規感染者数は着実に減少しており、日本と比べた経済正常化の進展からユーロ高円安の継続を想定。

(今月の予想レンジ) 米ドル円 108 ~ 112 円 ユーロ円 132 ~ 135 円

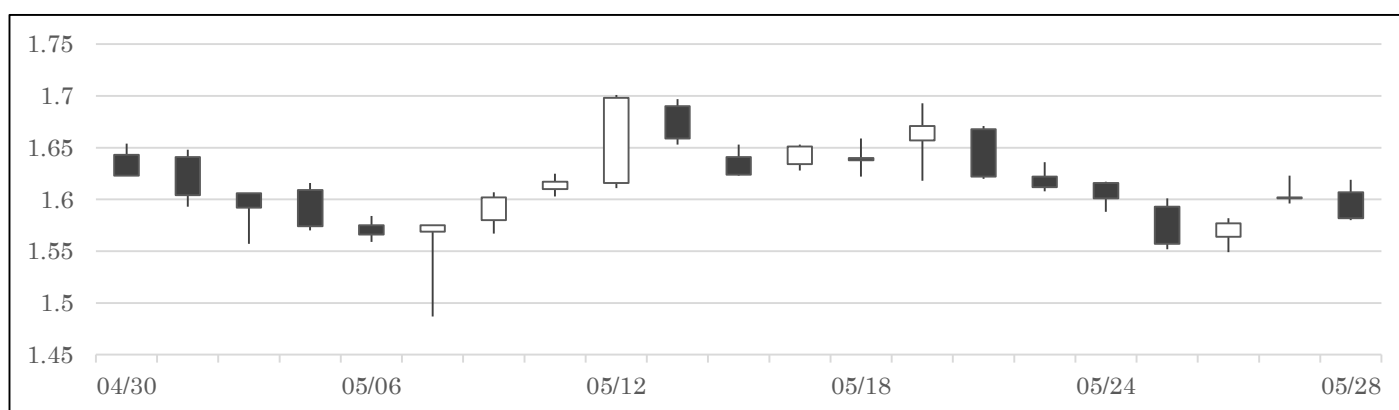
4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	0.08	1.582	-0.169	0.794	6.197	8.851	6.654
前月騰落幅	-0.01	-0.041	0.036	-0.048	0.0005	-0.026	0.024

< 日本 10年国債利回り推移 >



< 米国 10年国債利回り推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月比▲0.01%低下 (月末値 0.08%)。日銀が3月の金融政策決定会合で長期金利の変動幅を±0.25%程度と明確化したことで、長期金利は安定推移。国債の取引量は一段と減少しており、6月1日には国債取引の仲介業者である日本相互証券では、新発10年物国債が取引不成立。取引不成立は2020年6月29日以来11カ月ぶり。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月比▲0.041%低下 (月末値 1.582%)。米4月のCPIが市場予想を上回り、10年債利回りは一時1.7%程度に上昇したが、FRB (連邦準備制度理事会) 理事が物価上昇に持続性なしとの見解を示したことから長期金利は低下。

< 今後の見通し >

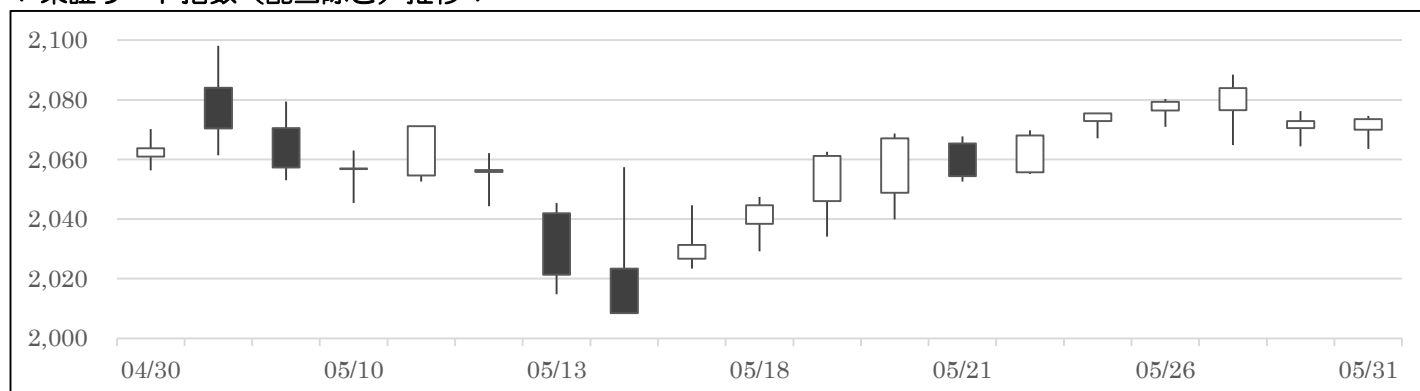
- ① 日本 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。ワクチンの大規模接種の開始から経済正常化への第一歩を刻んだが、インフレ懸念にはほど遠く、感染防止および経済の正常化に向けて金融・財政政策の継続は不可欠。10年国債利回りは現状レベルでの低位安定を想定。
- ② 米国 10年国債利回りは、徐々にレンジを切り上げる展開を予想。FRB (連邦準備制度理事会) は長期金利の上昇を牽制し、生産・流通などの供給サイド企業の体制整備を支援するが、想定より早いテーパリング (資産購入減額) 議論の開始を想定。

(今月の予想レンジ) 日本 10年国債利回り 0.06 ~ 0.10 % 米国 10年国債利回り 1.50 ~ 1.90 %

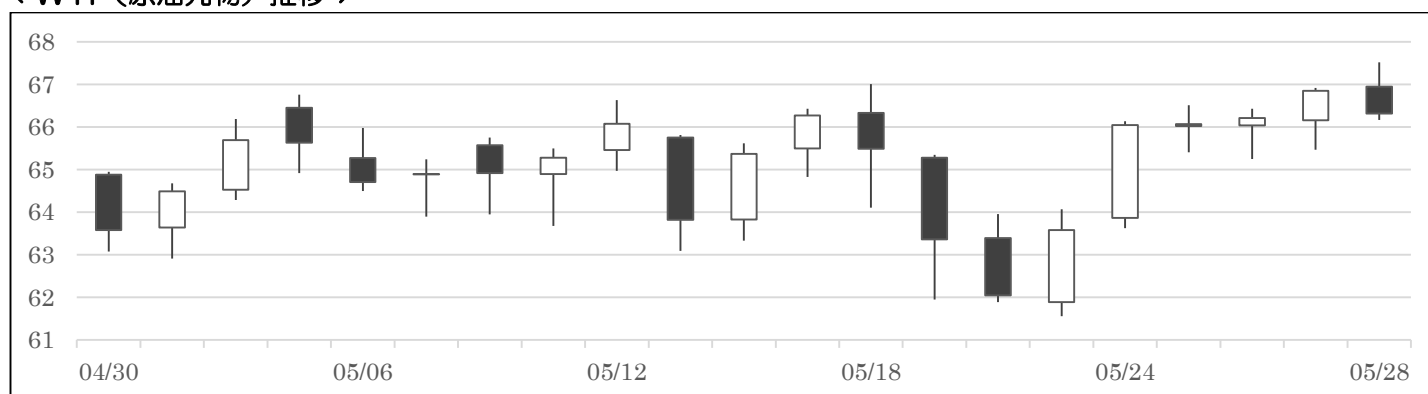
5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	2073.55	359.78	156.52	66.32	1905.3
前月騰落率	0.472%	0.776%	1.584%	4.310%	7.784%

〈東証リート指数（配当除き）推移〉



〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月比+10ポイント上昇（騰落率+0.472%、月末終値 2,073 ポイント）。長期金利の上昇懸念の後退から、東証リート指数は日本株指標の TOPIX（東証株価指数）と同様の推移で緩やかに上昇。
- ② WTI（原油先物）は、前月比+2.74 ドル上昇（騰落率+4.31%、月末終値 66.32 ドル）。イランが核合意再開に向け米国と協議前進との報道から、原油価格は下げる場面もあったが、米欧の経済正常化期待から原油価格は底堅く推移。5 月末の日経商品先物指数 42 種は、リーマンショック前の 2008 年 7 月以来、12 年 10 カ月ぶりの高水準となったが、脱炭素の流れから WTI は当時価格の 124 ドルと比べ現在は約 2 分の 1 の水準。

〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、上値の重い展開を予想。J-REIT 市場では 6 月に 2019 年 12 月以来の新規上場が予定されるなど、コロナ禍による最悪期からの脱却を見込むが、ワクチン接種の普及による不動産市場の回復にはまだ時間が必要。リートの株価対比での大きな出遅れ感および配当狙いの買いに支えられ、リート指数は横ばい圏推移を想定。
- ② WTI（原油先物）はレンジ内推移を予想。6 月 18 日のイラン大統領選では、立候補希望 592 人のうち反米候補者 7 名のみが立候補を認められ、反米路線への回帰は決定的で制裁解除による原油供給増は期待薄。原油価格が大幅に上昇した場合には協調減産縮小による価格調整を見込み、現状レベルでの推移を想定。
（今月の予想レンジ） J リート 2,000 ～ 2,200 ポイント WTI 60 ～ 75 ドル

6. 2021年6月のスケジュール

日本		米国		その他	
8日	1-3月期四半期GDP	4日	5月雇用統計	1日	豪準備銀行政策金利
16日	5月貿易統計	10日	5月消費者物価指数	10日	欧州中銀政策金利
17-18日	日銀・金融政策決定会合	15日	5月小売売上高	16日	ブラジル中央銀行政策金利
18日	5月消費者物価指数	16日	FOMC	17日	欧州5月消費者物価指数
29日	5月失業率	23日	5月新築住宅販売件数	24日	イングランド銀行金利発表
30日	5月鉱工業生産・速報値	25日	5月個人消費支出	30日	欧州6月消費者物価指数速報値
		30日	6月ADP雇用統計		

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ディーエム証券が作成

7. 事業所案内

支店名	住 所	電話番号	支店名	住 所	電話番号
静 岡 県					
本 社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
神 奈 川 県					
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	横浜支店	〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19番12号 (スカイビル22階)	045-548-4888
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店 小田原営業所	〒250-0011 小田原市栄町1丁目1番15号 (ミナカ小田原3階)	0465-46-8113
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	山 梨 県		
富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211	山梨本店 (4月20日 オープン)	〒400-0031 甲府市丸の内1丁目20番8号 (山梨中央銀行本店2階)	055-244-7821

【作成】静銀ディーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通し不確実分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

● 投資信託にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.85% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%

間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.42% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

● 上場有価証券等にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)

・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.1%

◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

SHIZUGIN TM SECURITIES



静岡ディーエム証券株式会社

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>